



よ ば てんびょう 四つ葉点描

きょういくもくひょう 教育目標 「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和6年2月6日

第22号

ひょうげんりょく はっしんりょく の
表現力・発信力を伸ばす



アート(芸術)がもたらす3つの効果

プレゼンアプリやワークシートを使って、自分の考えをまとめ、発表する活動が行われています。各自、各班が工夫を凝らして課題に取り組んでいる姿は、見ていて楽しいし、頼もしく感じます。こういった自由度の高い&『自律』と『多様性』を育む活動は、これからも増えていくでしょう。

内容が一番大事なのは言うまでもありませんが、他人に向けて発信するためには、「美しさ」も必要。そこで、今回の「四つ葉点描」では、『アート』について思うところを書きますね。



美意識を使った判断力が磨かれる



残念なことです。中部中学校には「ばれるか、ばれないか」「怒られるか、怒られないか」を判断基準にして行動する生徒がいます。

予測不可能で、変化の激しい世の中です。「過去の例・経験」や「習った知識・技能」では、解決できないことが起こります。そこで拠りどころとなるのが、『美意識 = 何が美しく、何が最善かを問う姿勢』です。つまり、『美しく生きる』ですね。

絵画や音楽、工芸などの『アート』と向き合うことで、自分が何を美しいと思ひ、何が心地良いと思ひかがわかってきます。美しいものに触れ、美しいものを追求し、愛することで、どういったものが世の中に受け入れられるものなのか、自分なりの基準ができます。技能教科の大切さは、ここにあります。

自由な発想を得られる



アーティストは、世の中で起きていることや興味のあることを、さまざまな角度から観察し、多様な視点から意味を理解して、自分の作品に落とし込みます。その作品には、今までのルールにとらわれるのではなく、それを超えた発想があります。

よく想像力とか発想力と言いますが、突然素晴らしいアイデアが天から降ってくることはありません。人とは違う見方や物事のとらえ方ができるから、他人が思いつかないアイデアが生まれます。つまり、想像力や発想力を生み出すためには、知識と知識の組み合わせによる新しい何か（価値）が必要なのです。

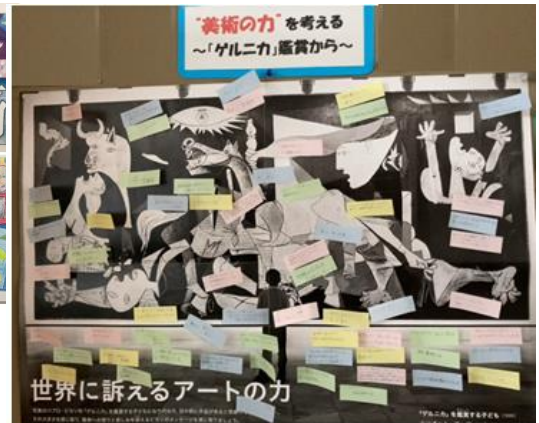
個人のレベル：「どうして9教科の勉強が必要なのか」の答えがここにあります。

集団のレベル：「どうして多様性が必要なのか」の答えがここにあります。



決まった答えの無い世の中で、自分なりの答えを創り出す作業は、まさにアートな作品作りと同じです。凝り固まった考え方や過去にとらわれた見方を、『アート』の力で打ち破ってはいかがでしょうか。

話が長くなったので、次回に続きます。『アート』と対極な『サイエンス』の私の文章では、説得力がありませんが、これからの時代は『アート』が最も重要な学問だと、心底思っているのです。



中部中学校にも「アート」な空間がいっぱい！！

3年生を応援しよう！

私立高校受験、県立前期選抜が終わり、3年生は、緊張の続く日々から解放されたかもしれません。お疲れさまでした。

インフルエンザやコロナウイルスの流行が、じわじわと広がっています。3年生にとって大切な時期に、校内での感染拡大を防ぐことが、

1, 2年生にできる最大の応援です。生徒全員で感染症対策に心がけましょう。

とはいっても、どこで感染するかはわかりません。体調がすぐれないときは、思い切って休もう！

